

3. 中間処理（溶融）施設の概要		(1/5)
処理施設の種類	施設の種類： 溶融施設（電気炉） 施設名称： フェロニッケル製錬電気炉 F-6	
設置場所	〒 031-8617 青森県八戸市大字河原木字遠山新田5番2	
設置年月日	昭和44年 6月 日	
処理能力	汚泥（無機性に限る。） 100t/日（最大） 動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。） 8t/日（最大） 金属くず 5t/日（最大） 鉍さい 100t/日（最大） ばいじん 16t/日（最大）	
廃棄物の種類	産業廃棄物 汚泥（無機性に限る。）、動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）、金属くず、鉍さい、ばいじん	
処理施設の処理方式及び設備の概要	処理方式 電気炉で溶融し、有効成分を原料として利用し製品化する。 設備の概要 密閉式電気炉 トランス容量：60,000kVA 最大生産能力：メタル 300t/d ：スラグ 1,800t/d	
環境保全設備の概要	付属排煙施設：なし（排ガスはID2、ID3の熱源として再利用している） 付属排水施設：なし	

3. 中間処理（溶融）施設の概要 (2 / 5)											
処理施設の種類	施設の種類： 溶融施設（電気炉） 施設名称： フェロニッケル製錬電気炉 F-7										
設置場所	〒 031-8617 青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5 番 2										
設置年月日	昭和45年 12月 日										
処理能力	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">汚泥（無機性に限る。）</td> <td style="text-align: right;">150t/日（最大）</td> </tr> <tr> <td>動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）</td> <td style="text-align: right;">12t/日（最大）</td> </tr> <tr> <td>金属くず</td> <td style="text-align: right;">7.5t/日（最大）</td> </tr> <tr> <td>鉍さい</td> <td style="text-align: right;">150t/日（最大）</td> </tr> <tr> <td>ばいじん</td> <td style="text-align: right;">24t/日（最大）</td> </tr> </table>	汚泥（無機性に限る。）	150t/日（最大）	動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）	12t/日（最大）	金属くず	7.5t/日（最大）	鉍さい	150t/日（最大）	ばいじん	24t/日（最大）
汚泥（無機性に限る。）	150t/日（最大）										
動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）	12t/日（最大）										
金属くず	7.5t/日（最大）										
鉍さい	150t/日（最大）										
ばいじん	24t/日（最大）										
廃棄物の種類	産業廃棄物 汚泥（無機性に限る。）、動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）、金属くず、鉍さい、ばいじん										
処理施設の処理方式 及び設備の概要	処理方式 電気炉で溶融し、有効成分を原料として利用し製品化する。 設備の概要 密閉式電気炉 トランス容量：70,000kVA 最大生産能力：メタル 370t/d ：スラグ 2,300t/d										
環境保全設備の概要	付属排煙施設：なし（排ガスはID2、ID3の熱源として再利用している） 付属排水施設：なし										

3. 中間処理（溶融）施設の概要 (3 / 5)	
処理施設の種類	施設の種類： 溶融施設（電気炉） 施設名称： フェロニッケル製錬電気炉 F-8
設置場所	〒 031-8617 青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5 番 2
設置年月日	平成6年 9月 日
処理能力	汚泥（無機性に限る。） 150t/日（最大） 動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。） 12t/日（最大） 金属くず 7.5t/日（最大） 鉍さい 150t/日（最大） ばいじん 24t/日（最大）
廃棄物の種類	産業廃棄物 汚泥（無機性に限る。）、動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）、金属くず、鉍さい、ばいじん
処理施設の処理方式及び設備の概要	処理方式 電気炉で溶融し、有効成分を原料として利用し製品化する。 設備の概要 密閉式電気炉 トランス容量：80,000kVA 最大生産能力：メタル 400t/d ：スラグ 2,400t/d
環境保全設備の概要	付属排煙施設：なし（排ガスはロータリードライヤー（RD）の熱源として再利用している） 付属排水施設：なし

3. 中間処理（熔融）施設の概要

(4 / 5)

<p>処理施設の種類</p>	<p>施設の種類： 熔融施設（乾燥炉 D-10） 施設名称： 焼却灰・ホタテ貝殻リサイクル施設 許可年月日： 平成16年9月16日 許可番号： 16-15-5</p>
<p>設置場所</p>	<p>〒 031-8617 青森県八戸市大字河原木字海岸20番2、21番2</p>
<p>設置年月日</p>	<p>平成15年7月23日</p>
<p>処理能力</p>	<p>取り扱う産業廃棄物 燃え殻・ばいじん（特管物を含む） 70.0t/日（最大/一般廃棄物含む） 動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。） 8.4t/日（最大/一般廃棄物含む） 金属くず 1.7t/日（最大） ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 11.3t/日（最大） 鉍さい 11.3t/日（最大） 汚泥（無機性に限る。） 12.8t/日（最大）</p>
<p>廃棄物の種類</p>	<p>産業廃棄物 燃え殻、ばいじん、動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉍さい、汚泥（無機性に限る。） 一般廃棄物 燃え殻、動植物性残さ 特別管理産業廃棄物（特定有害物質を含む。） ばいじん、汚泥（無機性に限る。）、燃え殻</p>
<p>処理施設の処理方式 及び設備の概要</p>	<p>処理方式 受託廃棄物は発塵防止の為 含水率が30%程度に調整されている。粒度調整の為の分別後、燃え殻、ばいじん等の産業廃棄物に含まれる鉍物組成を考慮しながら、目的とするスラグ組成になる様 混合する。これを原料として熔融を行うことになるが、廃棄物焼却炉での安定操作を行う為、ロータリードライヤーにて含水率2%程度にまで乾燥させる。ロータリードライヤーはキルン方式の構造で、熱風発生炉にて450℃程度に加熱された熱風をキルン内部に送り込み原料を乾燥させるものである。 設備の概要 ・ ロータリードライヤー： 外径 2m, 内張り内径 1.8m, 長さ 13m ・ 熱風発生炉： 熱風温度 450℃, 灯油使用量 130L/h (max)</p>
<p>環境保全設備の概要</p>	<p>保管及び分別施設 保管及び分別施設はコンクリートを敷設した屋内倉庫内にあり保管される廃棄物は風雨の影響を受けない。また、廃棄物が乾燥した際は発塵防止の為、必要に応じて散水を行う。 ロータリードライヤー排ガス 乾燥炉排ガスは、バグフィルターでばいじんを捕集後、活性炭吸着塔を経て排出される。</p>

3. 中間処理（溶融）施設の概要

(5 / 5)

<p>処理施設の種類</p>	<p>施設の種類： 溶融施設（廃棄物焼却炉 PWI-2） 施設名称： 焼却灰・ホタテ貝殻リサイクル施設 許可年月日： 平成16年9月16日 許可番号： 16-15-5</p>
<p>設置場所</p>	<p>〒 031-8617 青森県八戸市大字河原木字海岸20番2、21番2</p>
<p>設置年月日</p>	<p>平成15年7月23日</p>
<p>処理能力</p>	<p>取り扱う産業廃棄物 燃え殻・ばいじん（特管物を含む） 70.0t/日（最大/一般廃棄物含む） 動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。） 8.4t/日（最大/一般廃棄物含む） 金属くず 1.7t/日（最大） ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 11.3t/日（最大） 鉍さい 11.3t/日（最大） 汚泥（無機性に限る。） 12.8t/日（最大）</p>
<p>廃棄物の種類</p>	<p>産業廃棄物 燃え殻、ばいじん、動植物性残さ（可燃物の付着しない貝殻に限る。）、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉍さい、汚泥（無機性に限る。） 一般廃棄物 燃え殻、動植物性残さ 特別管理産業廃棄物（特定有害物質を含む。） ばいじん、汚泥（無機性に限る。）、燃え殻</p>
<p>処理施設の処理方式 及び設備の概要</p>	<p>処理方式 ロータリードライヤーで乾燥された廃棄物である原料に、含まれる金属酸化物の量に応じて金属還元材となるコークスを、スラグ組成の調整材となるホタテ貝殻を添加し、廃棄物焼却炉で溶融還元する。廃棄物焼却炉は熱抵抗型の直流電気炉の構造を有している。廃棄物は篩いを初めとし乾燥後、コンベヤー搬送により廃棄物焼却炉において処理される。溶融により廃棄物の鉍物組成（MgO, CaO, SiO₂, Al₂O₃等）および還元された金属組成（Fe, Cu etc）は比重差により、あたかも水と油が分離されるが如く鉍物組成は上方に、金属組成は下方に分離しそれぞれ排出される。それぞれの溶融物は冷却後、鉍物組成は魚礁や路盤材、コンクリート骨材として、金属組成は銅及び貴金属の回収目的に金属精錬社へ売却される。 設備の概要 ・ 廃棄物焼却炉： 外径 5m, 内張り内径 3.2m, 高さ 3.5m ・ トランス容量： 4,500KVA</p>
<p>環境保全設備の概要</p>	<p>廃棄物焼却炉の排ガス 廃棄物焼却炉の排ガスを、二次燃焼炉で900℃以上に加熱しダイオキシン類を分解する。その後、冷却塔で再合成されない温度である200℃以下まで急冷する。バグフィルターでばいじんを捕集後、僅かに残存するダイオキシン類を活性炭吸着塔で吸着し排出する。 排出ガス中に含まれる水銀についても、除去設備として、バグフィルター式集塵機及び、活性炭吸着塔により吸着除去する。</p>